



戸室・天神山古墳
天神山児童遊園地（撮影：小林会員）

令和5年7月号 Vol. 231
(2023年)

発行：令和5年7月5日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

《三角巾の使い方講習会》

行事区分：会員研修

日時：6月10日（土）11：00～12：00

場所：アミューあつぎ ミュージックルーム2

参加者：会員18名

いつもは座学による勉強会の多い観ボウですが、この日はちょっと違いました。三角巾に触れ、実際に試してみることを目的とした勉強会、それが今回の勉強会です。

参加会員の皆様が積極的に実践して下さい、ご自身の三角巾を持参して下さい方もいました。実践ではまず広げる・折る・結ぶ・解くが基本となります。し



かしながら三角巾自体、日常生活に登場することはほとんど無く、慣れ親しんだ物とは言えません。従って扱いに際し躊躇してしまうのが正直なところです。

そこで解り易く、使う場面が多そうな手技を選び、実践してみようと試みました。結ぶ・解くに関しては特に時間をかけ、腕の保持、足関節の固定では参加者同士、他の人に三角巾を巻いて貰うということを行いました。解けるはずの結び目が固く縛られてしまったり、三角巾に翻弄された1時間、たかが三角巾、されど三角巾であると身を以って感じました。

身近で起こる事故や災害、無いに越したことはありませんが三角巾の事を頭の隅に置いて頂けましたら嬉しく思います。

（茂木 記）

《かながわガイド協議会 2023 年度総会》

行事区分：かながわガイド協議会総会

日 時：6月2日（金）10：00～12：00

場 所：おだわら市民交流センターUMECO

参 加 者：会員1名



神奈川県内の 21 ガイド団体が集まり、かながわガイド協議会の 2023 年度の総会が開かれました。来賓として、神奈川県観光プロモーション担当課長笹野千尋氏と国内プロモーショングループの道合彩絵氏が出席されました。

湯山会長の挨拶では、新型コロナに関して今迄の状況と今後について、来賓の笹野課長様より、昨年の「鎌倉殿の13人」

の対応・協力に対してのお礼と、今年度は「東海道宿開設 400 年」「どうする家康」のプロモーションVTRを作成してPRする旨の話がありました。

議長に事務局推薦の関副会長が選任され、議事進行となりました。

(1) 第 1 号議案 … 2022 年度事業報告、決算報告、監査報告について

- ・訪問ガイドは前年度コロナで中止したが、2022 年度はあつぎ観光ボランティアガイド協会と鎌倉ガイド協会の協力で、計 8 回を行ったと感謝のことばがありました。

- ・現在加盟団体は 21 団体だが、未加入の団体について加盟を交渉中。

- ・ボランティアガイド育成事業、ガイドスキルアップ研修、研修会、幹部研修会の報告がありました。

- ・2022 年度会計報告及び監査報告

(2) 第 2 号議案 … 2023 年度事業計画(案)、予算(案)について

- ・事業方針

- ① 各種研修会の充実
- ② 未加入団体の加盟呼び掛け
- ③ 行政の行事に積極参加
- ④ 県によるガイドスキルアップ開催

- ・各種研修会

- ① 合同研修会 … 11/28 神奈川区いまむかしガイドの会担当

- ② 幹部研修会 … 2/16 鎌倉ガイド協会主催

- ③ 訪問ガイド … 年 6 回開催(4 月・5 月済み、9 月、10 月、1 月、2 月)

- ・外部団体との関係

- ① 神奈川県国際文化観光局観光課国内観光プロモーション部門及び県内観光関連行政との協力関係強化
- ② 神奈川県観光振興計画の実現への協力
- ③ 神奈川県観光魅力創造協議会に参加
- ④ 神奈川県観光協会との交流

- ・2023 年度予算(案)

(3) 第 3 号議案 … 2023 年度役員改選(案)

- ・新会長 三村 信氏(江の島藤沢ガイドクラブ)

- ・新副会長 田中 保氏(横浜金澤シティガイド協会)

- ・新事務長 田中 文子氏(鎌倉ガイド協会)

- ・新幹事 堀川 清子氏(小田原ガイド協会)

※湯山会長は相談役に

～第 1 号議案から第 3 号議案は賛成多数で承認可決されました。

(田頭 記)



《厚木駅の謎に迫る》

澤田 正弘

厚木駅が何故海老名市にあるのかについて探求してみたいと思います。その前に「厚木駅」にまつわる話を紹介します。

- ① 札幌市から羽田を経由し、七沢リハビリ病院の知人を見舞いにきた女性が相模大野駅の駅員に順路を聞いたら「厚木駅」で降りて駅前のバスで行く様に教えられた。下車してバス停を探したが見当たらず大変な目にあった。
- ② 田舎の同級会で本厚木駅集合を書面で案内する時は「厚木駅」では絶対に降りないように注意喚起している。
- ③ 厚木市と海老名市の市境はどこにあるのですか？と藤沢市に住む女性に聞かれた。この質問の背景には厚木市には「厚木駅」と「本厚木駅」の2駅があって、市境は「厚木駅」のさらに東側にあると思っている。
- ④ おまけ。「厚木飛行場は絶対厚木市にある」と自信をもって言う北海道のお寺の住職。厚木市の住民が厚木市に飛行場はありませんと言っても信用しない。

1. 「厚木駅」の登場

「厚木駅」という駅名が登場したのは大正15年（1926年）に神中鉄道（じんちゅうてつどう、現在の相模鉄道株式会社）が最初でした。（右図参照）

図を見ると厚木駅に関しては

- ① 神中鉄道
 - ② 相模鉄道（現在の JR 東日本）
 - ③ 小田原急行鉄道
- の3社が関連している事がわかります。



2. 「厚木駅」開業の歴史

- ① 大正15年（1926年）5月に神中鉄道が二俣川駅～厚木駅間を開業。
- ② 大正15年（1926年）7月に相模鉄道（現在の JR 東日本）が倉見駅～厚木駅を開業。
- ③ 昭和2年（1927年）4月に小田原急行鉄道（現在の小田急電鉄）が河原口駅と相模厚木駅（現本厚木駅）を開業。（この時「厚木駅」の名称が使えなかった）
- ④ 昭和18年（1943年）4月に神中鉄道が相模鉄道株式会社（相鉄）と合併。
- ⑤ 昭和19年（1944年）6月に小田原急行鉄道が河原口駅を厚木駅に改称、同時に相模厚木駅を本厚木駅に改称。

- ⑥ 昭和 23 年（1948 年）6 月に小田原急行鉄道が小田急電鉄株式会社として発足。
- ⑦ 昭和 39 年（1964 年）11 月に相鉄の本厚木駅乗り入れを廃止。
（小田急線の列車運転本数の増加により）

3. 駅名のつけ方

駅名は先に営業した鉄道に優先権があり、しかも駅名は許認可事項ではなく、届け出事項の為、後発の小田原急行電鉄は「厚木駅」の名前が使えなかったという事情があるようです。では何故当時の神中鉄道、相模鉄道は「厚木駅」の名前を使ったのでしょうか。厚木の地は、中津川、小鮎川が相模川と合流する地点で相模川舟運の集積地であり、矢倉沢往還、八王子道など相模平野の集落に通じる交通路との終結点でもありました。江戸時代の後期に厚木を訪れた渡辺崋山（1793～1841）をして「厚木の盛んなること都と異ならず」と驚かせたほど繁栄していました。つまり厚木駅の名前は県央「厚木」のブランド力、あるいは厚木の玄関口という意味合いがあったのかも知れません。

4. 町民大会で決議文があった

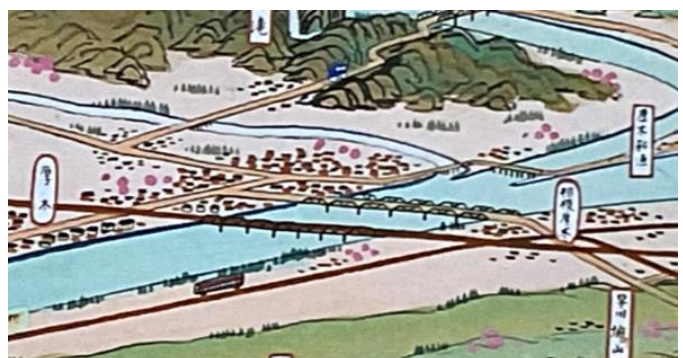
神中鉄道と相模鉄道に対して駅名を変えて欲しいという厚木町民大会での決議文（下記）があったようですが、効果はなかったようです。

<p>決議文</p>	<p>海老名村字河原口所在神中鉄道厚木駅及び相模鉄道厚木駅</p>	<p>右は東厚木駅と改称するを妥当とす</p>	<p>〈理由〉右厚木駅は厚木町区</p>	<p>域外にして将来交通上の錯綜を来す事少なからずと信じ一般公衆の為我厚木町民は拗つて改称の目的貫徹を期す</p>	<p>昭和二年三月九日</p>	<p>厚木町民大会</p>
------------	-----------------------------------	-------------------------	----------------------	---	-----------------	---------------

（「横浜貿易新報」昭和 2 年 3 月 11 日）

5. 「神奈川県鳥瞰図」（昭和 8 年）に書かれていた駅名

協会ニュース 2023 年 2 月号で阿部会員が投稿した吉田初三郎作成の「神奈川県鳥瞰図」が紹介されました。その中で相模川付近の「拡大図」も紹介されましたがこの絵をよく見ると小田原急行鉄道「相模厚木駅（現本厚木駅）」が「厚木」と記載され、相模鉄道（現在の JR 東日本）の「厚木駅」が「相模厚木」と記載されています。この駅名記載に誤りがあっても、多くの人々は不思議と思わなかった様です。この昭和 8 年には小田原急行電鉄に「厚木駅」は無く、以前の「河原口駅」がありました。もしこの絵の通りなら小田急線は上りが厚木市の「厚木駅」、海老名市の「相模厚木駅」・・・相模原市の「相模大野駅」となって万事解決なのですが（残念）。



6. 小田急電鉄における駅名改称の事例

昭和 62 年（1987 年）3 月に 2 駅が改称

① 大根駅（おおねえき）⇒東海大学前駅

大根村の地名からとった駅名であったが、昭和 63 年に東海大学湘南キャンパスが開設され多くの東海大学生が利用するようになるため。

② 大秦野駅（おおはだのえき）⇒秦野駅（はだのえき）

昭和 2 年 4 月の小田原急行鉄道開通当時、既に二宮駅と秦野駅間を結ぶ軽便鉄道（一般的な鉄道よりも規格が簡便で、安価に建設された鉄道）の湘南軌道（明治 39 年 8 月開設）が既にあったため「大秦野駅」として開設された。その後軽便鉄道が廃止されたので「秦野駅」に改称した。

本投稿の作成にあたり山崎会員、鈴木会員、阿部会員から資料等の提供を頂きました。

〈参照文献〉

- ・厚木市郷土資料館編集「第 11 回特別展、本厚木駅と厚木駅」より抜粋
- ・「Wikipedia」などより引用

【小田急ロマンスカー】

小田急電鉄の発展に「ロマンスカー」は大きな役割を果たしました。「ロマンスカー」の名前は「見知らぬ 2 人が隣り合った席に座り、観光地に向かう途中で『ロマンス』が生まれるように・・・」と名付けられたと言われています。

初めて前面展望席が設けられた車両はNSE（New Super Express）3100 型で 1963 年から 2000 年の間活躍しました。2 階運転席への出入りは仮設のはしごをかけて、1 階天井のドアを開けて行いました。



小田急電鉄ロマンスカー NSE3100 型
撮影場所：ロマンスカーミュージアム（海老名市）
撮影：編集担当



ムラサキカタバミ

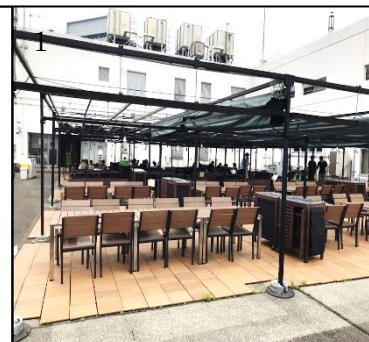
最近の活動

日付	場所	内容	参加者
6月 2日	小田原市	かながわガイド協議会総会	会員 1名
6月 10日	アミューあつぎ	定例会	会員 23名
6月 10日	アミューあつぎ	会員研修（三角巾の使い方）	会員 18名
6月 23日	アミューあつぎ	厚木市観光振興推進委員会	会員 1名
6月 30日	相川公民館	編集会議	会員 2名

会員懇親推進行事のご案内

行事名：懇親バーベキュー大会

日時：7月27日（木） 11時（集合）～14時（解散）
 会場：本厚木ミロード①屋上 「デジキューBBQ テラス」
 座席：ラグジュアリーゾーン
 小雨決行：上部に移動式の日よけ、雨よけシートがあります
 行き方：本厚木ミロード①のエレベータで屋上（RF）へ
 詳細・申し込み：サークルスクエア



編集後記

巻頭写真は戸室3丁目にある「天神山古墳」で直径約44m、高さ約5.5mと厚木市内で一番大きな円墳です。周りにもいくつもの古墳があった様で、多くの人達が定住していたことがうかがえます。先月号でも眞野会員による及川・前方後円墳の発掘調査中の報告がありました。厚木における古墳時代の人達の暮らしはどの様なものだったのでしょうか。電車もバスも無い、コンビニもスマホも無い。大山を見ながらのんびりとした生活をおくっていたのでしょうか。でも「もっこ」を使ってあれだけの塚を築くには相当の労力が必要だったと思います。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘